2016 アドベンチャーガイズ
チョー・オユー（8,201m）
シシャパンマ中央峰（8,008m）
公募登山隊 募集要項

チベット高原から望むシシャパンマ

お問合せ ㈱アドベンチャーガイズ

〒102-0072　東京都千代田区飯田橋４－５－４山和ビル３階

Tel：03-5215-2155　Fax：03-3288-3211

info@adventure-guides.co.jp

チョーオユー＆シシャパンマ公募登山隊

この登山隊は「チョーオユー＆シシャパンマ」の登頂を目的とした公募形式の登山隊です。

標高8,000m以上の高所は、酸素が平地の1／3以下、気温も－30℃以下になることもある過酷な自然環境です。体力・技術・豊富な経験等を持ち合わせた、登山のエキスパートのみに許される領域です。しかしながら「高所経験の豊富な山岳ガイドのサポート」、「積極的なネパール人高所ガイドの雇用」、「高所での積極的な酸素の使用」等により、一般の登山者にも登頂が可能なタクティクスを作ることが出来ます。この隊は、参加者自身の技量だけでは登頂が難しい一般の登山愛好家を中心に、山岳ガイドが登頂のために必要な技術、経験の足りない部分をサポートしながら登頂を目指す公募隊です。

チョーオユー山頂

「チュー・オユー」

ヒマラヤ山脈のネパールと中国チベット自治区国境上に位置する、14座ある8，000m峰の一つ、世界第6位の高峰です。標高は高いのですが、技術的には他の8，000m峰に比べ、なだらかな斜面の登攀が多く、8，000m峰としては比較的登りやすい山です。
登頂ルートはポピュラーな中国側北西稜を採用します。

「シシャパンマ」

中国・チベット自治区南西部、ラサより西約420kmに位置し、世界にある8000m峰　14座の1座。ネパール名ではゴサインタンと呼ばれ、ヒンドゥー教の聖地ゴサインクンドと密接な関係があるといわれています。8000m峰14座の中では最も標高が低く、初めての8000m峰の山として数多くの公募登山隊が入山しています。ピークは本峰（8012m）と中央峰（8008m）の2峰ありますが、今回は登りやすい中央峰を目指します。

日本人が企画・運営する公募登山隊のメリット

現在、世界各国でチョモランマ公募登山隊が募集されています。これは国際隊で参加者の中心は欧米諸国の登山者になります。近年、日本人にもこの欧米の公募登山隊に参加する方を見受けます。しかし、言葉、文化、食事などの違い、そして体格差による基礎体力の違いなどから、うまくこれらの登山隊になじめず良い結果が得られない方もいるようです。

アドベンチャーガイズの公募登山隊は日本人による日本人のために企画・運営される公募登山隊で、食事、ペース配分等、日本人参加者に合わせるのは無論のこと、登山成功の大きなポイントであるストレス解消や登山意欲の維持がうまくできるように日本語できめ細かくサポートします。隊員も自分の要望を細かいニュアンスまで伝えることができるので快適な環境での登山活動になります。

「公募登山隊参加費用」　カトマンズ発着費用

チョーオユー登頂

9/07（水）～10/12（水）　36日間　　￥2，950，000.

チョーオユー＆シシャパンマ　ダブル登頂

9/07（水）～10/26（水）　50日間　　￥4，450，000.

＊現地発着なので、カトマンズまでの交通費が別途必要です。
＊最短日程で日本出発は1日前以前、日本到着は2日後になります。
＊諸条件は6名参加の場合です。参加人数によって変更になる場合がございます。
＊急激なレート変動、ネパール・中国の制度変更等の場合、料金、諸条件が変更になる場合もございます。

【公募登山隊参加費用に含まれるもの　（カトマンズ発着）】

カトマンズ～ラサ間片道航空券、 現地移動費用、 登山申請料＋入山手続費用、
日本から現地への共同装備運搬費用と20kgまでの個人装備運搬費用、 現地宿泊費用、
現地キャンプ費用（食事も含む）、現地での荷物運搬費用（トラック、ヤク、ポーター）、
日本人リーダー同行費用、 ネパール人ガイド同行費用、 テント・登攀用具等共同装備費用、
酸素ボンベ（高所行動、睡眠用＋予備）

＊同行スタッフ　参加者が4名の場合、日本人リーダーx1名、ネパール人ガイドx5名
＊ホテル、ABCのテントは、一人用を利用（チベット高原の一部の山村を除く）
＊酸素は7，000m以上のキャンプ睡眠時より上部に使います。
＊山頂アタック時は、マンツーマンでネパール人ガイドがサポートします。

【公募登山隊参加費用に含まれないもの　（主なものを列記します。）】

登山後のシェルパガイドへのチップ、 個人的に利用した衛星電話等通信費、 自由行動中の費用、
天候・現地事情・参加者の体調等でルート・日程を変更した場合に必要な諸費用、
規定以上の個人装備運搬費用、 登山保険、 海外旅行傷害保険、 その他個人的諸経費

公募登山隊に参加するためのツアー　東京発着

【チョーオユー登頂】

9/6（火）～10/14（金）　39日間　　旅行費用 ￥155，000.

【チョーオユー＆シシャパンマ　ダブル登頂】

9/6（火）～10/28（金）　53日間　　旅行費用 ￥155，000.

旅行企画・実施　株式会社アドベンチャーガイズ　観光庁長官登録旅行業1713号
最少催行人員：4名　　利用予定航空会社：キャセイパシフィック航空、タイ航空
利用予定ホテル：カトマンズ＝ガンジョン、チベット

「公募登山隊に参加するためのツアーに含まれるもの」
東京～カトマンズ間の往復航空券（帰国便変更可能航空券）、カトマンズ空港～ホテル間の移動費用、カトマンズのホテル（1泊）、日本人スタッフ同行費用（行きのみ）

＊別途お渡しする、旅行条件書、旅行約款を必ずご確認下さい。

注意事項（お申込み前に必ずお読み下さい）

１．公募登山隊

公募登山隊では、参加者が必ず登頂できることをお約束するものではありません。天候、ルート状況、参加者の技術体力・体調等によって登頂できない場合もございます。

２．参加の技術、体力レベル

参加に際しての標準的な技術、体力レベルの目安は下記のようになります。

＊斜面でアイゼン・ピッケルを確実に使うことができる。
＊雪上を含む基本的なテント生活経験がある。
＊国内で１日標高差1000m以上を登り降りができる。
＊３泊４日以上の長期山行の経験がある。
＊基礎的な高所順応の知識があり、7～8000m以上の高所経験がある。

３．８０００m峰登山のリスク

８０００m峰登山は、整備され安全管理された登山道で行う一般登山とは違い、高所、低温、岩稜、雪稜、急斜面、氷河などの厳しい自然環境の中で登山活動を行うため、雪崩、高山病、怪我、凍傷、そして時には生命の危険がある登山であることを認識してご参加下さい。

４．登山隊長・登山ガイドに関して

同行する日本人リーダーが登山隊長としてこの公募登山隊を運営・管理します。また隊長は8000m峰登頂等、高所登山経験が豊富な者を選任します。
日本人リーダーが中心となり、ネパール人高山ガイドをサポートスタッフとして一緒に登山隊を運営します。
また、ネパール人スタッフは原則的に日本語は話せませんので英語での会話となりますが、登山中の重要な事項は日本人リーダーが通訳致しますので言葉の不安はほとんどございません。その他にチベット内では中国政府の連絡官がＢＣまで同行いたします。

５．高所への対応

登山中全ての隊員に必ず高度の影響が出てきます。この登山隊は全ての隊員の登頂が安全に成功するよう、下記のように万全の体制で高所へ対応を行ないます。

＊高度順応の為に最適と思われる日程を組みます。
＊パルスオキシメーター、携帯用加圧バック等の高所登山用の装備を用意して登山に望みます
＊日本人山岳ガイドが効率良く高度順応出来るよう健康管理も含め的確にアドバイスします。
＊７，０００m以上の宿泊では酸素を使用します。
（７０００m以下で酸素を利用した場合、別途、追加料金をお支払い頂く場合がございます。）

６．登山中の判断に関して

ルート決定、日程調整、パーティー編成、登山中止等登山中の判断は隊長および日本人リーダーが参加者の安全を第一に考え行ないます。この決定には必ず従って頂きますので、予めご了承下さい。

７．登山中止に関して

隊長および日本人リーダーは参加者の安全を第一に考えながら登山活動を行います。天候、ルートの状況、参加者の体調によってはやむを得ず登山活動の全部または一部を中止する場合もあります。予め、ご了承下さい。また、これらの決定は隊長および日本人リーダーが行い、いかなる事由があろうと必ず従って頂きます。また登山が中止された場合いかなる事由であれ参加費用の変更、返金はありませんので、予めご了承下さい。
以下に登山を中止する場合の対応を例示します。

＊悪天候で登山が不可能な場合。
＊ルートの状況により登山が不可能な場合。
＊天候、天災、政治的事由等で出発前に登山が困難と判断された場合。
＊交通機関、宿泊施設、装備運搬等で大きな支障がでた場合。
＊参加者の登山技術が未熟で登山活動の継続が出来ないと判断された場合（安全に登山を継続する事ができないと判断された時点で下山を開始します。その場合、全体のパーティー構成が変更される場合があります）
＊登高ペースが遅い場合
（予定時刻までに余裕をもって安全地帯まで下山するにはペースが遅いと判断された段階で下山を開始します。その場合、全体のパーティー構成が変更される場合があります。）
＊登山装備に支障があった場合。
（装備に支障があった場合､その参加者の登山を中止します。装備表を良くご覧になり準備して下さい。新しいアイゼン等は事前に実際に装着して装着可能か確認して下さい。装備について不明な点がありましたらお問い合わせ下さい。また、現地では個人装備の貸与は一切致しませんので、予めご了承下さい。

８．キャンプに関して

上部キャンプへの個人装備の荷上げは、原則的にネパール人ガイドが行いますが、一部協力して頂く場合もございます。また上部キャンプの設営は原則的にネパール人ガイドが行い隊員がサポートする形になります。テントの設営方法は日本人リーダー、シェルパが案内します。

９．緊急時の対策

この登山隊で訪れる地域は、一般的には秘境、辺境と呼ばれる地域です。可能な限り山岳ガイドや現地スタッフは無線機等での連絡方法を確保し、緊急時に備えますが日本やヨーロッパ諸国等に比べて、必しも充分な救助体制が確立されていません。参加者はその点を充分に理解した上、無理のない行動、安全な登山を心がけて下さい。また、隊員は弊社が指定する内容の山岳保険に加入することが参加条件となりますので、予めご了承下さい。

１０．申込み

出発３ヶ月前までに申込書と申込金を添えて申込下さい。

申込金　５０万円

１１．提出書類

下記の書類を出発２ヶ月半前までにご提出下さい

１．山岳保険申込書
２．山歴書
３．参加に際する約定書
４．健康診断書
５．その他、渡航手続きの書類

１２．参加取消

下記の参加取消料をお支払い頂く事によって公募隊の参加を取り消すことが出来ます。

公募登山隊

出発日の９０日～７６日前	参加費用の５０％
出発日の７５日～３１日前	参加費用の８０％
出発日の３０日～当日	参加費用の９５％
無連絡不参加、出発後	参加費用の１００％

公募登山隊に参加するためのツアー

出発日の３０日～３日前	参加費用の２０％
出発日の前々日～当日	参加費用の５０％
無連絡不参加、出発後	参加費用の１００％

チョーオユー＆シシャパンマ公募隊　フォトギャラリー

カトマンズより飛行機でラサへ

ティンリからのチョーオユー

チョーオユーABC

チョーオユー　C1～C2のアイスフォール付近

チョーオユー　山頂直下

シシャパンマ　上部デポキャンプ

シシャパンマ　C1からC2へ

シシャパンマ山頂

《チョー・オユー＆シシャパンマ公募登山隊　日程表》

	月　　日	日　　程	
【9月06日（火）　東京　→　カトマンズ】			
1	07日（水）	カトマンズで遠征準備。	(1.350m)
2	08日（木）	カトマンズ10：45発（CA-408）→　ラサ14：05着	(3.600m)
3	09日（金）	ラサ滞在	(3.600m)
4	10日（土）	ラサ滞在	(3.600m)
5	11日（日）	ラサ→シガツェ	(3.900m)
6	12日（月）	シガツェ→ティンリ	(4.342m)
7	13日（火）	ティンリ	(4.342m)
8	14日（水）	ティンリ→TBC（ジャプラ）	(4.950m)
9	15日（木）	TBC	(4.950m)
10	16日（金）	TBC	(4.950m)
11	17日（土）	TBC→バルン	(5.250m)
12	18日（日）	バルン→ABC	(5.700m)
13	19日（月）	ABC	(5.700m)
14	20日（火）	ABC	(5.700m)
15	21日（水）	ABC←→C1	(6.450m)
16	22日（木）	ABC	(5.700m)
17	23日（金）	ABC	(5.700m)
18	24日（土）	ABC→C1	(6.450m)
19	25日（日）	C1→C2	(7.100m)
20	26日（月）	C2→C3	(7.600m)
21	27日（火）	C3→山頂→C2	(7.100m)
22	28日（水）	C2→ABC	(5.700m)
23	29日（木）	登山調整日	
24	30日（金）	登山調整日	
25	10月01日（土）	登山調整日	
26	02日（日）	登山調整日	
27	03日（月）	登山調整日	
28	04日（火）	登山調整日	
29	05日（水）	登山調整日	
30	06日（木）	登山調整日	
31	07日（金）	ABC→チョー・オユーTBC	(4.950m)
32	08日（土）	TBC→ティンリ	(4.342m)
33	09日（日）	ティンリ→シシャパンマTBC	(5.000m)
34	10日（月）	TBC→デポC	(5.450m)
35	11日（火）	デポC→ABC(5,700m)	(5.700m)
36	12日（水）	ABC	(5.700m)
37	13日（木）	ABC→C1	(6.300m)
38	14日（金）	C1→C2(6,700m)	(6.700m)
39	15日（土）	C2→C3(7,300m)	(7.300m)
40	16日（日）	C3→山頂(8,008m)→C2	(6.700m)
41	17日（月）	C2→ABC	(5.700m)
42	18日（火）	登山調整日	
43	19日（水）	登山調整日	
44	20日（木）	登山調整日	
45	21日（金）	登山調整日	
46	22日（土）	登山調整日	
47	23日（日）	登山調整日	
48	24日（月）	ABC→TBC	(5.000m)
49	25日（火）	TBC→ニェーラム	(3.750m)
50	26日（水）	ニェーラム→コダリ→カトマンズ	(1.350m)
【10月27日（木）　カトマンズ　→（機中泊）】 【10月28日（金）　東京　】			

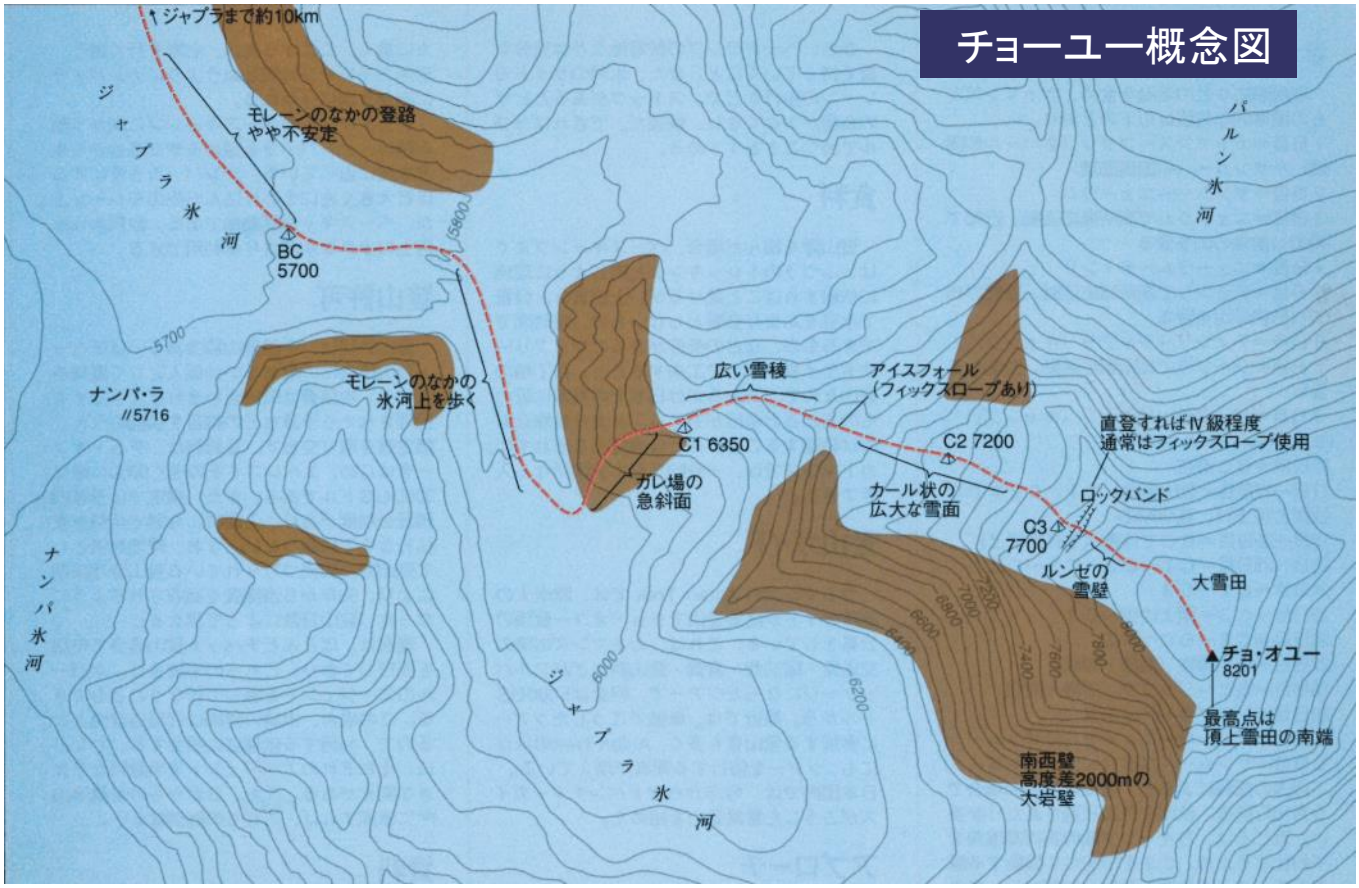
※日程は天候、ルートの状況等によって、変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

《チョー・オユー公募登山隊　日程表》

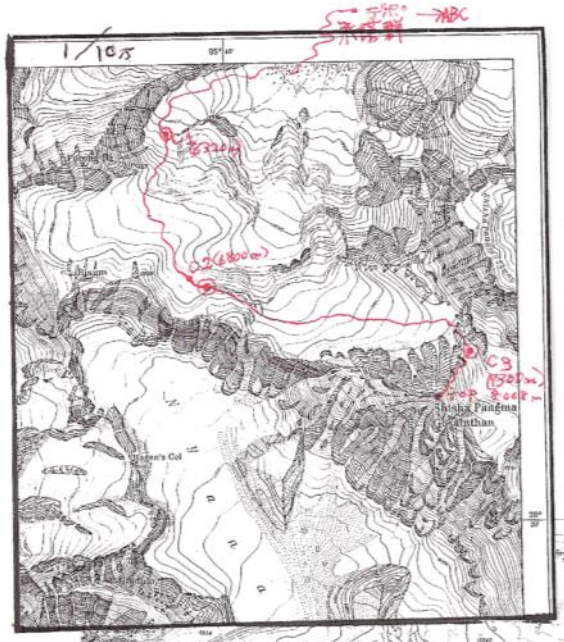
	月　　日	日　　程	
【9月06日（火）　東京　→　カトマンズ】			
1	07日（水）	カトマンズで遠征準備。	(1.350m)
2	08日（木）	カトマンズ10：45発（CA-408）→　ラサ14：05着	(3.600m)
3	09日（金）	ラサ滞在	(3.600m)
4	10日（土）	ラサ滞在	(3.600m)
5	11日（日）	ラサ→シガツェ	(3.900m)
6	12日（月）	シガツェ→ティンリ	(4.342m)
7	13日（火）	ティンリ	(4.342m)
8	14日（水）	ティンリ→TBC（ジャプラ）	(4.950m)
9	15日（木）	TBC	(4.950m)
10	16日（金）	TBC	(4.950m)
11	17日（土）	TBC→バルン	(5.250m)
12	18日（日）	バルン→ABC	(5.700m)
13	19日（月）	ABC	(5.700m)
14	20日（火）	ABC	(5.700m)
15	21日（水）	ABC←→C1	(6.450m)
16	22日（木）	ABC	(5.700m)
17	23日（金）	ABC	(5.700m)
18	24日（土）	ABC→C1	(6.450m)
19	25日（日）	C1→C2	(7.100m)
20	26日（月）	C2→C3	(7.600m)
21	27日（火）	C3→山頂→C2	(7.100m)
22	28日（水）	C2→ABC	(5.700m)
23	29日（木）	登山調整日	
24	30日（金）	登山調整日	
25	10月01日（土）	登山調整日	
26	02日（日）	登山調整日	
27	03日（月）	登山調整日	
28	04日（火）	登山調整日	
29	05日（水）	登山調整日	
30	06日（木）	登山調整日	
31	07日（金）	ABC→チョー・オユーTBC	(4.950m)
32	08日（土）	TBC	(4.342m)
33	09日（日）	TBC→ザンムー	(3.750m)
34	10日（月）	ザンム→コダリ→カトマンズ	(1.350m)
35	11日（火）	カトマンズ	(1.350m)
36	12日（水）	カトマンズ	(1.350m)
【10月13日（木）　カトマンズ→（機中泊）】 【10月14日（金）　東京　】			

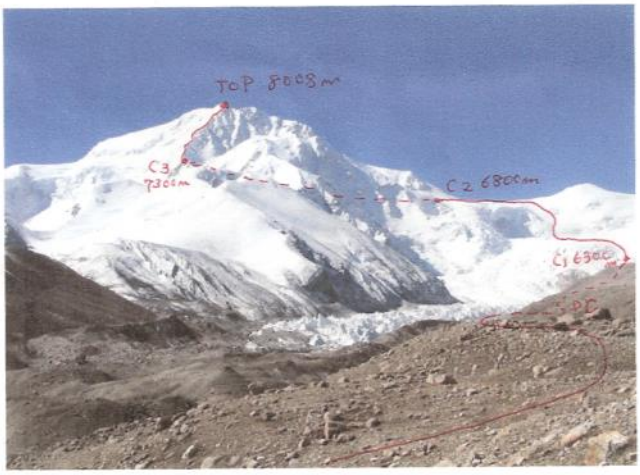
※日程は天候、ルートの状況等によって、変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

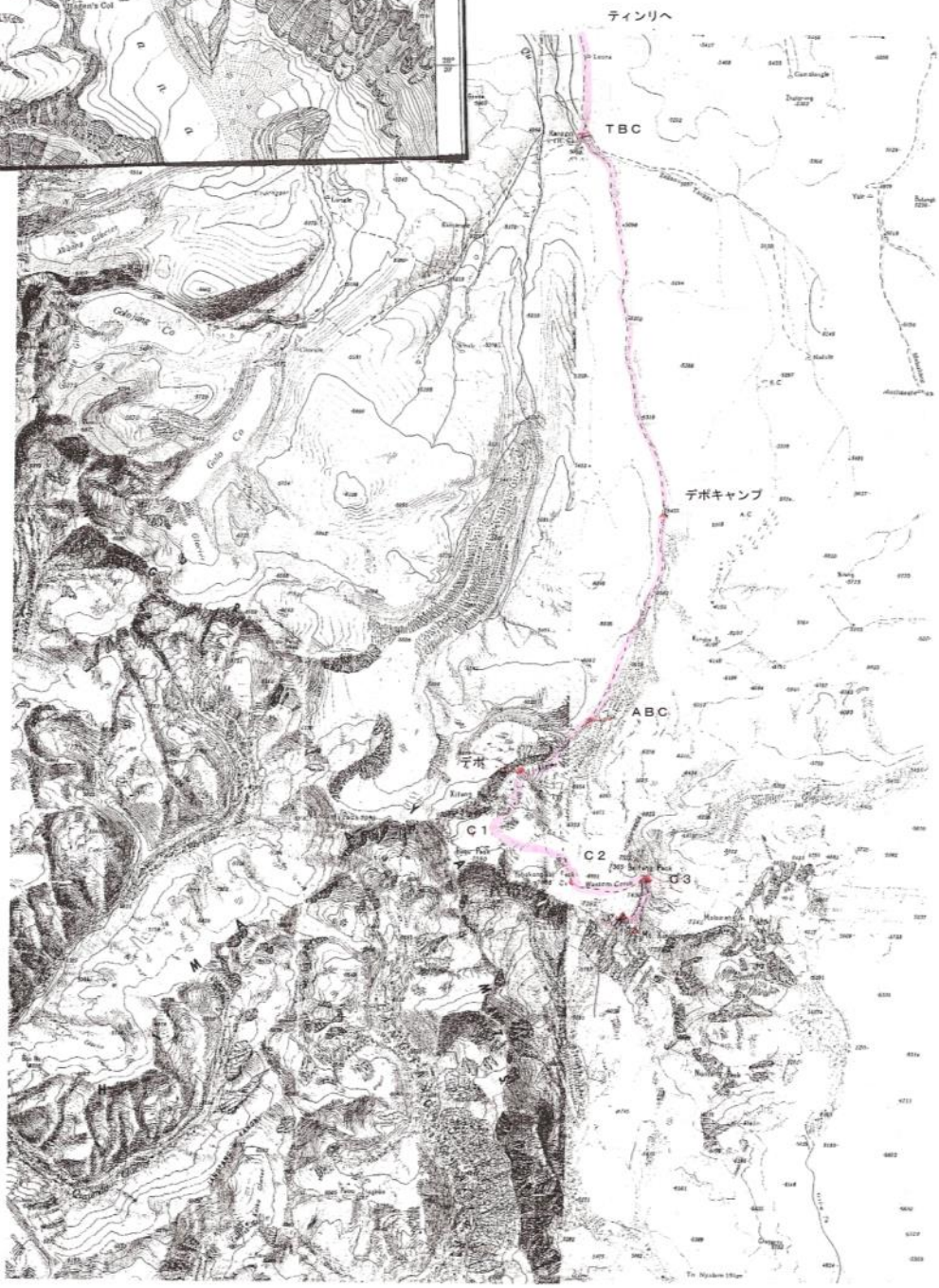
チベット案内図
中国
ティンリ
シシャパンマ
8027
ランタン・リルン
7234
ランタン
ニェーラム
ザンムー
ジャプラ
ロンブク
チョ・オユー
8201
ナンパ・ラ
ガウリシャンカール
7134
エベレスト
8848
マカルー
8463
6812
アマ・ダブラム
ネパール
コダリ
ナムチェバザール
バラビセ
カトマンズ
ルクラ
ジリ


チョーユー概念図
ジャプラまで約10km
ジャプラ氷河
モレーンのなかの登路
やや不安定
BC
5700
5800
5700
ナンパ・ラ
//5716
モレーンのなかの
氷河上を歩く
広い雪稜
アイスフォール
(フィックスロープあり)
C1 6350
ガレ場の
急斜面
C2 7200
カール状の
広大な雪面
直登すればⅣ級程度
通常はフィックスロープ使用
ロックバンド
C3
7700
ルンゼの
雪壁
大雪田
チョ・オユー
8201
最高点は
頂上雪田の南端
南西壁
高度差2000mの
大岩壁
ナンパ氷河
パルン氷河
6000
6200
6400
6600
6800
7000
7200
7400
7600
7800
8000

シシャパンマルート概念図







《8000m峰　公募登山隊参考装備表》

NO	品名	数量	ﾁｪｯｸ		備考
1	登山靴	1足	○		オーバーブーツ一体型の高所用ブーツ
2	軽登山靴	1足	○		履きなれたもの。ベースキャンプまでのアプローチに使用。
3	運動靴または普段履き	1足	○		都市滞在中、車での移動などに使用。
4	サンダル	1足	○		1足あるとリラックスできます。
5	アイゼン	1個	○		12本爪以上のフルアイゼン。取り付け方が簡単なもの。
6	ピッケル	1個	○		軽量で長すぎないもの。
7	エイト環	1個	○		懸垂下降用。
8	ハーネス	1個	○		シットハーネスタイプで装着の簡単なもの。
9	ヘルメット	1個	○		登山用の軽量のもの。
10	安全環付きカラビナ	2個	○		ハーネス装着用に必要。スリングも1本あると便利。
11	アッセンダー	1個	○		通称ユマール。急斜面のセラック帯の登り等に使います。
12	ストック	1組	○		三段の伸縮するものが便利。
13	大型バック等100ℓ位	1個	○		飛行機に預けるバック。鍵が掛かるもの。ＢＣへの荷物の運搬にも使用。汚れても平気なもの。スーツケース不可。
14	中型バック等60ℓ位	1個	△		ＢＣまでの荷物の運搬に使用。汚れても平気なもの。中型リュックサックと兼用も可。
15	中型リュックサック50ℓ位	1個	○		寝袋、マットなどの個人装備が入るもの。上部キャンプへの移動時に自分で背負うリュックサック。
16	アタック用ザック40ℓ位	1個	△		頂上アタック時に使用します。水筒、酸素ボンベなどが入るもの。中型リュックサックと兼用も可。
17	羽毛服	1着	○		頂上アタック時に使用。ＢＣでの保温用などにも使用。
18	アウターシェル	1組	○		オーバージャケット、オーバーパンツ。防水性が良く、ムレないもの。急な降雨には雨具として、高所では防寒着、または防風着として使用出来るものが便利。
19	ミッドレイヤー	1組	○		行動用の薄手のフリースやシャツ等から、防寒用の厚手のフリースや薄手の羽毛下着等の組み合わせ。ウール・化学繊維系のズボンやタイツ等の組み合わせ。軽く、暖かく、温度調整のし易いもの。綿製品は不可。
20	ﾌｧｰｽﾄﾚｲﾔｰ（下着）	1組	○		ウール、ポリエステル系素材によるロングスリーブ、ロングタイツが望ましい。汗などの水分の速乾性と動きやすさの両立したもの。綿製品は不可。ショーツ等もこれに準ずる。
21	オーバーシューズ（一体型の場合は不要）	1組	○		シンサレート等の中綿の入ったものはとても暖かい。オーダーメイドのものがベスト。
22	手袋	2双	○		厚手の未脱脂のウール製品等、登攀用製品。他に薄手のアンダーグローブもあると便利。
23	オーバーミトン	1組	○		ゴアテックス製品。十分な大きさで厚手の毛手袋の上から着用できるもの。 3本指、5本指など。羽毛入りミトンもあります。

NO	品名	数量	ﾁｪｯｸ		備考
24	靴下	3足	○		メリノウールと化学繊維のミックスが、保湿性、速乾性、クッション性が優れている。
25	目出帽	1個	○		薄手のもので顔の大きさに合っている物。高所帽と兼用も可
26	帽子	適量	○		日よけ用。キャップなど。高所帽兼用も可。
27	寝袋（シュラフ）	1個	○		羽毛量８００ｇ程度の厳冬期用。
28	シュラフカバー	1枚	○		ゴアテックス製の軽量のもの。
29	個人用マット	1枚	○		寝心地はエアーマットが良い。ロールマットの方が軽い。
30	折りたたみ傘	1個	△		降雨・降雪に備え。日傘にも応用可。街中でも使えます。
31	サングラス	1個	○		顔の大きさにあったもの。安価なものは不安。
32	ゴーグル	1個	○		顔の大きさにあったもの。Ｗレンズのもの。
33	ヘッドランプ	1個	○		予備電池も必要。ＬＥＤライトがお勧め。
34	水筒	1個	○		１ℓ以上のもの。
35	アバランチビーコン	1個	○		氷河上の行動時に使います。予備電池も２～３組程度
36	テルモス	1個	○		移動中や夜間に温かい飲物が飲めるよう。１ℓ程度のもの。
37	ピーボトル	1個	○		高所で使用する尿瓶。
38	日焼け止めクリーム	適量	○		日焼け防止や唇荒れ防止に
39	マスク	適数	○		防塵用と睡眠時に喉の乾燥を防ぐため。使い捨てのものが便利。
40	洗面用具	適量	○		普段使い慣れたもの。
41	医薬品	適量	○		持病薬の他、鎮痛剤、外傷薬、感冒薬、整腸薬、胃腸薬等、常備薬は漢方系の物が体の負担が少なく安心です。
42	嗜好品	適量	○		体調が悪く食欲の無い時に簡単に食べられるものなど。
43	磁石・高度計・温度計	適量	△		持っていると便利。
44	筆記用具	適量	○		ボールペン、メモ帳など。

○：必需品　　△：なくても困りませんがあった方が便利　　×：不要
＊上記装備表は絶対的なものではありません。上記を参考に各自装備リストをお作り下さい。

ADVENTURE GUIDES